



埼玉県のマスコット コバトン

埼玉県 獣医師会 会報

第 648 号

平成29年10月20日編集

発 行 所
公益社団法人 埼玉県獣医師会
〒330-0835 さいたま市大宮区北袋町1-340
(埼玉県農業共済会館内)
電 話 048(645)1906
FAX 048(648)1865
E-mail: s-vma@vesta.ocn.ne.jp
URL: <http://www.saitama-vma.org/>
振替口座 00110-9-195954番
発行責任者 高橋 三男
編集責任者 大橋 邦啓
印刷所 (株)アサヒコミュニケーションズ

記 事 の 内 容

平成29年度集合狂犬病予防注射実施者
講習会開催のご案内……………1
平成29年度全国獣医師会会長会議開催
される……………2

会務報告
第2回獣医事調査委員会……………4

予告
東支部学術講習会のお知らせ……………5
南支部学術講習会のお知らせ……………6

新入会員報告
新入会員紹介……………6

ひろば
日本獣医師会主催「2017動物感謝デー
in JAPAN」開催される……………7
南支部学術講習会開催報告……………10
東支部学術講習会開催報告……………10
第139回埼玉県獣医師会ゴルフ同好会
コンペ結果報告……………11
彩の国さいたま動物愛護フェスティバル2017
開催される……………11

五十嵐幸男名誉会長の墓参報告……………14

お知らせ
野鳥における高病原性鳥インフルエンザ
ウイルス保有状況調査の実施について…15
家畜に使用するコリスチン製剤(動物用
医薬品)のリスク管理措置について…15
シンポジウム「獣医師の社会的役割と、
その教育の今」の開催について……………16
「ワンヘルスに関する連携シンポジウム」の
開催について……………17

切り抜きニュース
○【教えて! goo】犬の死期はどう迎えたら
いい?……………18
○「八方にらみの犬」の絵馬で視野広く…18

埼玉県獣医師会学術広報版……………19

事務局より
事務局メモ……………20

編集後記……………21

公益社団法人 埼玉県獣医師会 会員憲章

わたくしたち埼玉県獣医師会会員は、それぞれの職域において、その責務を遂行し、県民の福祉増進に寄与するため、ここに会員憲章を定めます。

わたくしたち埼玉県獣医師会会員は

1. 動物の生命を守り、ひとびとの生活を豊かにしよう

1. 獣医学術を研鑽向上し、確信を持って業務に邁進しよう

1. 動物愛護思想を向上し、心豊かな生活をしよう

1. 環境衛生を向上し、福祉増進の実をあげよう

1. 職域を尊重し、倫理の昂揚をはかろう

埼玉県獣医師会 平成29年度集合狂犬病 予防注射実施者講習会開催のご案内

(公社)埼玉県獣医師会会長 高橋 三男
狂犬病予防委員会委員長 渋谷 正志

平成30年度集合狂犬病予防注射事業の的確な実施に向け、埼玉県獣医師会集合狂犬病予防注射実施要領及び同細部要領に基づき、平成29年度集合狂犬病予防注射実施者講習会を下記のとおり開催しますので**集合狂犬病予防注射実施希望の先生におかれましては必ず受講をお願いいたします**。また、今回は狂犬病対策に加え、平成31年10月の消費税率の引上げと同時に実施される消費税の軽減税率制度の説明を関東信越国税局にお願いし、幅広い観点からの講習会といたしますので、勤務部会(農林、衛生、団体支部)の先生方におかれましても積極的な参加をお願いいたします。

1 日 時 平成29年11月30日(木)

受付 午後1時15分

開会 午後1時45分

閉会 午後4時

2 場 所 さいたま市民会館うらわ ホール

〒330-0062 さいたま市浦和区仲町2-10-22

TEL: 048-822-7101 FAX: 048-822-7106

(JR 浦和駅西口下車徒歩7分)



3 内 容

(1) 会長挨拶

(2) 講演

① 狂犬病臨床診断へのアプローチと最近の話題(仮題)

講師 狂犬病臨床研究会副会長・杉山獣医科(静岡市)副院長 杉山和寿 先生

② 消費税軽減税率制度の概要について

講師 関東信越国税局消費税課 三島友彰 先生

(3) 事務連絡

4 その他

(1) 当日は時間厳守にてお願いします。

(2) ご不便をお掛けしますが、会場の駐車場(有料:29台)は台数が限られておりますので、公共交通機関又は付近の有料駐車場をご利用ください。

平成29年度全国獣医師会会長会議開催される



常設議長として議事を進行する高橋三男埼玉県獣医師会会長
右は副議長の玉井公宏和歌山県獣医師会会長

平成29年度全国獣医師会会長会議が平成29年9月29日の午後2時から、東京都港区の明治記念館「曙の間」において開催されました。

会議では、冒頭、主催者として藏内勇夫日本獣医師会会長、続いて北村直人日本獣医師会顧問(日本獣医師連盟委員長)が挨拶をしました。続いて議長、副議長の任命では、司会者が、9月14日に開催された日本獣医師会の第4回理事会において、議長の選任については地区選出理事の互選であったものが、地方会会長の中から会長が任命することに改正されたことを説明した後、藏内会長が、常設議長に埼玉県の高橋三男会長、副議長に和歌山県の玉井公宏会長を指名しました。任期は平成31年の日本獣医師会通常総会終了までであることが紹介されました。

このため、前期に引き続き常設議長として要職を担うこととなった高橋会長と、今回、新たに就任した玉井公宏副議長が登壇し、議事に入りました。

議事では、まず「説明・報告事項」として①九州北部豪雨に関する件、②特別委員会及び部会委員会に関する件、③当面の課題への対応方針(ロードマップの策定)に関する件、④世界獣医学大会及びアジア獣医師会連合会代表者会議に関する件、⑤2017動物感謝デー in JAPAN“World Veterinary Day”の開催に関する件、⑥獣医学術学会年次大会の開催に関する件について境 政人専務理事から報告と説明がありました。

10分間の休憩を挟んで、⑦日本医師会－日本獣医師会学術連携シンポジウムの開催に関する件、⑧獣医学術実践教育推進協議会に関する件、⑨アニマルクラスター構想に関する件、⑩個人情報セキュリティ強化

対応に関する件、⑪災害時における動物管理の支援システムの実装に関する件、そして、連絡事項として①当面の主要会議等の開催計画に関する件、②日本獣医師連盟からの活動報告、と大変多くの議題について説明がありましたが、高橋会長は議長として、限られた時間の中で各地方会会長から有意義な質問や意見を引き出すとともに、執行部には適切な回答を求めてその調整にあたるなど円滑な運営に務め、議事を終了しました。

会議終了後は「富士の間」に会場を移し、「日本獣医師会関係者事業推進懇談会」が開催されました。懇談会には、翌30日(土)開催の「2017動物感謝デー in JAPAN」の盛大な開催と獣医師会関係者の交流に向けて、地方獣医師会会長のほかにも動物感謝デーに参加する地方会の会員や協賛団体・企業関係者等も多数出席され、和やかにお互いの交流と懇親を深められました。



動物感謝デーの成功に向け懇親会開会を告げる砂原和文日本獣医師会副会長（秋田県獣医師会会長）

左から 天野芳二理事（東京都獣医師会副会長）、北村直人日本獣医師会顧問、鳥海弘神奈川県獣医師会会長、酒井健夫日本獣医師会副会長、村中志朗東京都獣医師会会長、一人おいて、藏内勇夫日本獣医師会会長、高橋三男埼玉県獣医師会会長、玉井公宏和歌山県獣医師会会長、境政人日本獣医師会専務理事

会 務 報 告

第 2 回 獣医事調査委員会

平成29年10月12日(木)午後1時30分から、さいたま市「埼玉県農業共済会館」会議室において次の事項を協議した。

1 会長挨拶

委員各位には、お忙しいなか出席いただき感謝申し上げます。

昨今、獣医事を巡る環境が大きく変わるなか、獣医師会という組織を活かしていくためにも組織の維持発展は不可欠であり入会審査にあたっては慎重審議をお願いしたい。

2 協議事項

(1) 新入会員の審査について

入会申込みのあった、開業部会4

(新規3名、転入1名)及び勤務部会32

(新規31名、転入1名)について審査し、理事会に付議することとなった。

(2) その他

過去5年間の新入会員数の推移や狂犬病予防に関する資料など、最近の獣医事をめぐる情勢について意見交換した。

広告

松研の動物用生物学的製剤



こわい狂犬病から
ぼくをまもってね

■ 松研狂犬病TCワクチン

動物用医薬品

要指示医薬品

豚用ワクチン

- 松研豚丹毒生ワクチン
- ポーシリス APP-N
- ポーシリス ERY
- ポーシリス STREPSUIS
- ポーシリス Begonia DF・10
- ポーシリス Begonia DF・50

水産用ワクチン

- M/バック レンサ 注
- M/バックイニエ
- 松研M/バック IPレンサ

家畜用抗毒素

- 破傷風血清

※豚用ワクチンは要指示医薬品です。

研究開発元 一般財団法人 松岡科学研究所
製造販売元 松研薬品工業株式会社



〒184-0003 東京都小金井市緑町5丁目19番21号
TEL: (042) 381-0075 FAX: (042) 381-0344
URL: <http://www.32.ocn.ne.jp/~matsuken>
E-mail: matsuken@cf.mbn.or.jp

予 告

東支部学術講習会のお知らせ

(獣医師生涯研修事業ポイント対象 カリキュラム番号 小2(1) 小2(4) 小3(10))

東支部長 渋谷 正志

学術委員 佐久間昭仁

東支部では、11月19日(日)金園 晨一先生(米国獣医神経学専門医、埼玉動物医療センター／どうぶつの総合病院主任)をお招きし、神経病学を究める！～「これは運動器疾患？それとも神経疾患？ 見極めかたのコツ」専門医が考える抗てんかん薬の使い方と注意点～と題し、学術講習会を開催いたします。

講習会のポイント！

「これは運動器疾患？それとも神経疾患？ 見極めかたのコツ」

歩行異常という主訴はとても多いと思いますが、動物が歩く様子・ヒストリーをよく聴取することで鑑別が格段に容易になることが多いことを日常の診療で強く感じます。今回は、MRIやCTなどの画像検査に進む前に考えるべきポイントを実際の症例ビデオを用いて解説いたします。

「専門医が考える抗てんかん薬の使い方、注意点」

てんかんは慢性疾患であるため、抗てんかん薬の使用をスムーズに行うことが出来ると、5～10年単位で皆様の病院に通院されることになります。様々な使い方がある中で、基本的な考え方や薬剤選択のポイントを概説すると共に、少数の症例を用いて参加される先生と一緒にプランを立てたいと思います。

日常の診療の中で思っていることや疑問に答えるセミナーに最新情報を交えて企画しました。多くの先生の参加をお待ちしています。

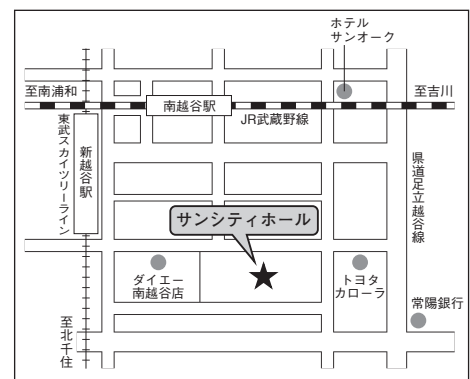
日 時 平成29年11月19日(日)
14:30～18:00(受付14:00～)
※講演内容、休み時間などで多少前後いたします。

場 所 越谷サンシティ
越谷市南越谷1-2876-1
TEL 048-985-1111

演 題 「神経病学を究める！
～これは運動器疾患？それとも神経疾患？ 見極めかたのコツ／
専門医が考える抗てんかん薬の使い方と注意点～」

講 師 埼玉動物医療センター／どうぶつの総合病院 主任
米国獣医神経病学専門医 金園 晨一 先生

参 加 費 埼玉県獣医師会会員 1,000円(シラバス代、飲み物代含む)
会員以外の受講者 5,000円(シラバス代、飲み物代含む)



南支部学術講習会のお知らせ

(獣医師生涯研修事業ポイント対象 カリキュラム番号 小2 (1) 小3 (3))

南支部長 田中 裕
学術委員 大野 潤

南支部では、12月17日(日)に学術講習会を開催します。

講師の先生は、日本獣医生命科学大学 獣医保健看護学科 臨床検査学研究分野 嵯上 大吾先生をお招きいたします。テーマは「腫瘍外科の考え方」です。

多くの先生方のご参加をお待ちしております。

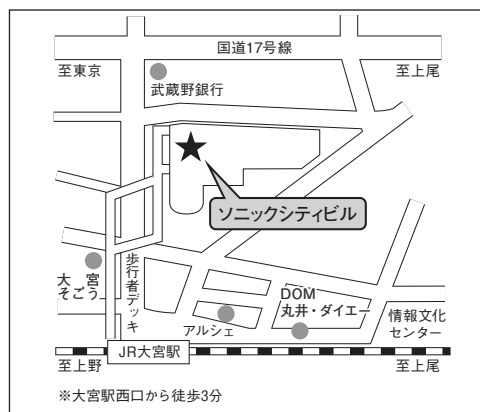
日 時 平成29年12月17日(日)
14:00~17:00(受付13:30~)

場 所 大宮ソニックシティビル 601会議室
さいたま市大宮区桜木町1-7-5
TEL 048-647-4111

演 題 「腫瘍外科の考え方」

講 師 日本獣医生命科学大学
獣医保健看護学科 臨床検査学研究分野
准教授 嵯上 大吾 先生

参 加 費 埼玉県獣医師会会員 無料
会員外の受講者 5,000円



新入会員報告

新 入 会 員



たけむら ちえ
竹村 千絵
団体支部



めざわ さや
目澤 咲綾
団体支部

勤務部会

支 部 名	氏 名	診療所所在地・名称
団 体	竹 村 千 絵	さいたま市・直井動物病院
〃	目 澤 咲 綾	さいたま市・直井動物病院

ひろば

日本獣医師会主催 2017動物感謝デー in JAPAN 開催される



開会式で挨拶する藏内勇夫日本獣医師会会長

平成29年9月30日(土)、日本獣医師会主催による2017動物感謝デー in JAPAN が東京都立駒沢オリンピック公園中央広場で開催されました。

この動物感謝デーは、獣医師が活躍する多様な職域や獣医療の社会的役割について国民に理解を深めてもらうとともに、動物の福祉と愛護精神の高揚を通じて人と動物が共存する豊かな社会の形成を目的に、地方獣医師会や関連団体が協賛して2007年以降開催されており、2016年は「第2回世界獣医師会 - 世界医師会 “OneHealth”」に併せ、福岡県北九州市において開催されたため、今年は従来の会場に戻しての開催となりました。

高橋三男会長は、昨年までは動物感謝デー企画検討委員会の委員長として、先頭に立って運営に取り組む立場でしたが、今年は会場内で出展者とゆっくりと交



開会宣言を運んだハリスホーク号

流を深めておられました。

好天に恵まれ、各イベントは多数の家族連れなどで賑わい、ペット連れも多くみうけられました。

午前10時からの開会式では、主催者を代表して藏内勇夫日本獣医師会会長が挨拶し、来賓の国会議員の祝辞や紹介がありました。続いて、本会会員で諏訪流放鷹術保存会鷹匠、大橋邦啓先生(北支部)による放鷹術が披露され、鷹のハリスホーク号が開会宣言文をステージまで運び、宣言文を受け取った砂原和文日本獣医師会副会長が開会を宣言しました。

開会式の後、メインステージでは「殺処分“0”」～そのために目指すべき様々な「0」について考える」や「世界狂犬病デー in Japan」をテーマにしたトークショー、獣医師の仕事などを分かりやすく紹介するプログラムなどが行われました。

また、中央広場では、動物ふれあいコーナーや獣医師を体験できるコーナーが設置されるとともに、警察犬・災害救助犬・聴導犬など働く動物たちのデモンストレーション、放鷹義塾による「鷹匠による伝統技術のデモンストレーション」など多彩なイベントが行われ、来場者は絶えることなく、一日中、楽しんでおりました。

今年は、日本獣医学生協会から200名を超える学生が運営やステージイベントに参加して、会場を盛り上げました。

賑わう埼玉県獣医師会のブース

地方獣医師会のコーナーでは、地域の特産物の試食や販売が行われました。

埼玉県のコーナーでは、安全・安心な牛肉生産に取り組む農場管理獣医師協会の活動紹介と併せて、同協会の指導により生産されたブランド畜産物「彩さい牛」の串焼きなどの販売を行いました。

彩さい牛は、生産を指導してきた会員獣医師の努力もあり、今では「安全・安心でおいしい牛肉」として定着してきており、午後3時には完売してしまいました。



高橋三男会長、大橋邦啓先生と日本獣医学生協会の学生たち



彩さい牛を求める長い行列

会場では、生産農家をはじめ、彩さい牛をレストランで提供しているホテル・ヘリテイジ(熊谷市)の杉田社長や齊藤総料理長も参加し、生産から流通・消費の関係者が一体となって美味しさと安全性をアピールしていただき、本県のテント前には串焼きなどを求める長い列ができ、ひときわ周囲の目を引いておりました。

また、埼玉県が全国に誇る特産の「狭山茶」も生産者の協力を得て試飲・販売することができ、会場は大いに盛り上がりました。

閉会式

閉会式は午後4時40分からメインステージで行われました。

まず、動物感謝デー企画検討委員会の鳥海弘委員長が壇上に立ち閉会の辞を述べられ、北村直人日本獣医師会顧問(同副委員長)の閉会宣言により閉会いたしました。



出展に御協力いただいた皆様方

前列左から 1人おいてホテル・ヘリテイジ総料理長 齊藤勇人様(熊谷市)
 後列左から 中村滋副会長、農場管理獣医師協会 大橋邦啓先生(北支部)、1人おいて農場管理獣医師協会 中村陽二先生(北支部)、
 高橋三男会長、北村直人日本獣医師会顧問、2人おいて狭山茶生産者 平塚尚吾様(入間市)

南支部学術講習会開催報告

南支部長 田中 裕
学術委員 大野 潤

南支部では、9月24日(日)大宮ソニックシティにて学術講習会を開催いたしました。

講師として、日本獣医生命科学大学 獣医内科学研究室第二 宮川優一先生(講師・獣医学博士)をお招きし、「犬の慢性腎臓病～診断・治療の再確認～」というテーマでご講演いただきました。

犬の慢性腎臓病にも、糸球体疾患や尿細管間質性疾患などタイプがあり、治療法や進行の度合いも異なってくることで、特に蛋白尿が尿細管間質線維化を強く引き起こし、犬の慢性腎臓病の重要な問題となる事を実際の症例を交えながら解説していただきました。

また、普段慢性腎臓病に使用することの多い、リン吸着剤の使用タイミングや、それぞれの利点・欠点、抗高血圧薬の使用手順や腎生検の実施のタイミングなどを分かりやすくご説明頂きました。ご参加いただいた先生方からも興味深い質問があり、有意義な研修会となりました。

宮川先生には、貴重なお時間をいただき、多くの図を用いて非常にわかりやすくご講演頂き、感謝いたします。またお忙しい中、多くの先生方にお集まりいただきありがとうございました。

今年度の次回の南支部学術講習会は、12月17日(日)日本獣医生命科学大学の柗上大吾先生にお願いしております。多くの先生方の参加をお待ちしております。

<参加者内訳>

出席者	さいたま市支部	南支部	西支部	北支部	東支部	団体支部	会員外
40名	5名	21名	3名	1名	4名	6名	0名

東支部学術講習会開催報告

東支部長 渋谷 正志
学術委員 佐久間昭仁

東支部では、10月1日(日)浅川 翠先生(どうぶつの総合病院 病理科主任 臨床病理科主任)をお招きし、「肝臓疾患の診断を極める！～肉眼病理でここまでわかる肝臓疾患・見直したい血液検査・細胞診・生検まで～」と題し、学術講習会を開催いたしました。

肝疾患の診断に対して、血液検査データの解釈の仕方を解りやすく説明していただきました。また、肝疾患を形態的变化から推察する方法を、多くの写真を使って説明していただきました。最後に肝疾患の診断方法に多く用いられる細胞診のピットフォールと対策についてご教授いただきました。日常の中で、多く遭遇する疾患の一つなので、受講していただいた先生方からも大変興味深い質問が多く、とても活気溢れる講習会となりました。

<参加者内訳>

出席者	さいたま市支部	南支部	西支部	北支部	東支部	団体支部	会員外
57名	4名	4名	2名	0名	33名	13名	1名

第139回 埼玉県獣医師会ゴルフ同好会コンペ結果報告

埼玉県獣医師会ゴルフ同好会会長 長谷川 繁雄
西支部 岡田 かおり

平成29年9月28日(木)越生町の入間カントリークラブにて第139回埼玉県獣医師会ゴルフ同好会コンペが行われました。

心配された前日からの雨もスタート時にはすっかりと上がり、とても良いコンディションで、和気あいあいとプレーすることができました。

初参加2名を含む総勢21名の熱戦の中、北支部の大野秀樹先生が見事優勝を勝ち取りました。大野先生おめでとうございます。

成績は以下の通りです。

	選手名	ネット
優 勝	大野 秀樹先生(北支部)	71
準優勝	小島 満先生(北支部)	73
第3位	山川 勝弘様 (賛 助)	73

ベストグロス 小堺 正人 先生(さいたま支部)78



左から
小島満先生(第2位)、
長谷川繁雄先生(同好会会長)、
大橋秀樹先生(優勝)、
山川勝弘様(3位)、佐々木顕正様(神奈川県)

次回は、140回記念大会となります。

12月14日(木) 鴻巣カントリークラブを予定しています。

みなさまのご参加お待ちしております。

彩の国さいたま 動物愛護フェスティバル2017 開催される

埼玉県動物指導センター所長 篠宮 哲彦

平成29年度動物愛護週間記念事業として、9月24日(日)に(公社)埼玉県獣医師会及び鴻巣保健所管内鴻巣狂犬病予防協会の御後援を受けて、「吹上生涯学習センター」(鴻巣市)を会場に「彩の国さいたま動物愛護フェスティバル2017」を開催いたしました。

動物愛護フェスティバルは、動物の愛護及び管理に関する法律第4条に基づく動物愛護週間事業のひとつとして、広く動物愛護思想の普及啓発を図ることを目的に、平成5年度から毎年、「人と動物が共存できる豊かな社会をめざして」をテーマに、県内の各地域で実施しております。

開催にあたっては、毎年当事業に多大な御理解と御支援をいただいております(公社)埼玉県獣医師会の高橋会長様をはじめとする多くの会員の皆様に会場の選定や企画等について御指導と御協力をいただきました。ここに厚くお礼を申し上げます。



受賞者（動物愛護管理功労者）を囲んで

前列左から 中村滋埼玉県獣医師会副会長、山中利之先生（さいたま市支部中央分会）、高橋三男埼玉県獣医師会長、別部博司先生（西支部所沢分会）、中屋敷慎一埼玉県議会議員、飯塚孝夫鴻巣市環境経済部長（原口和久鴻巣市長代理）
後列左から 中村英次先生（鴻巣保健所管内鴻巣狂犬病予防協会会長）、篠宮哲彦動物指導センター所長、市川克己埼玉県保健医療部生活衛生課長



後援者あいさつをされる高橋三男会長

彩の国さいたま動物愛護フェスティバル2017開会式は、「吹上生涯学習センター」ホールで午前10時から始まり、来賓として原口和久鴻巣市長（代理：環境経済部長 飯塚孝夫様）をお迎えして御祝辞をいただくとともに、後援者として御出席いただきました（公社）埼玉県獣医師会長 高橋三男様と鴻巣狂犬病予防協会会長 中村英次様から本事業への力強い応援と御祝辞をいただきました。

さらに、県議会議員 中屋敷慎一様も御多忙にもかかわらず開会式に御出席いただき御祝辞をいただきました。

また、衆議院議員 大島敦様 並びに 衆議院議員 中根一幸様からも激励の祝電をいただきました。

続いて高橋獣医師会長からは、別部博司先生（埼玉県獣医師会西支部所沢分会）と山中利之先生（埼玉県獣医師会さいたま支部中央分会）の両先生に、（公社）日本獣医師会長表彰として動物愛護管理功労者表彰状の伝達を行っていただきました。

今回の動物愛護フェスティバルは、第1会場として「吹上生涯学習センター」のホールで開会式及び各種イベントを、また、第2・第3会場として「吹上生涯学習センター」の視聴覚室と会議室で、動物愛護に関する映画の上映と動物愛護展・動物防災展を行いました。特に、イベント会場で行われた（一社）日本聴導犬推進協会による「聴導犬のお話しとデモンストレーション」は、人と動物が生活の中で互いに補いつつ生活する姿が示され、参加者に強い感銘を与えました。

このほか、マイクロチップの測定体験、動物愛護をテーマにした腹話術や動物クイズなどの各種の催しや、動物愛護展、動物防災展など、動物愛護や正しい犬・猫の飼い方に関する展示などとともに、広く動物愛護に関する普及啓発を行うことができました。

動物愛護フェスティバル2017を無事に終了できたことは、皆様の多大なる御協力の賜と存じます。ここに、御来場、御参加いただきました方々、関係各位に改めて感謝を申し上げます。



聴導犬のお話しとデモンストレーション



イベントコーナー



防災展示コーナー

五十嵐幸男名誉会長の墓参報告

北支部長 大橋 邦啓

北支部では、9月24日（日）に、五十嵐幸男名誉会長の墓参を計画したところ、鴻巣市で開催された動物愛護フェスティバルに出席された、高橋三男会長、中村滋副会長にもお越しいただき、総勢14名で、午後1時から熊谷市佐谷田の永福寺にお参りをしました。

地元の名家である瀬山家の大変に立派な墓所の一角にある五十嵐名誉会長の墓前に献花し、埼玉県獣医師会の現状や獣医師を巡る情勢を報告させていただきました。

墓参後はホテルガーデンパレスに移動し、お茶を頂きながら、出席者全員がそれぞれ五十嵐名誉会長とのエピソードを披露し、その偉大な足跡を偲びました。



前列左から 門倉千速先生、湯本哲夫先生、林繁雄理事

後列左から 事務局鴻巣泰、飯田潔先生、柿沼清市先生、浅見寿先生、岡田卓也先生、今井賢太郎先生、山口達也先生、中村陽二先生、高橋三男会長、中村滋副会長、大橋邦啓北支部長

お知らせ

地方獣医師会会長 各位

29日獣発第206号
平成29年9月28日

公益社団法人 日本獣医師会
会長 藏内 勇夫
(公印及び契印の押印は省略)

野鳥における高病原性鳥インフルエンザウイルス保有状況調査の実施について

このことについて、平成29年9月12日付け環自野発第1709121号をもって、環境省自然環境局野生生物課長から別添のとおり通知がありました。

このたびの通知は、「野鳥における高病原性鳥インフルエンザに係る対応技術マニュアル」に基づき、本年度も10月より野鳥における当該ウイルス保有状況調査を実施する旨を通知するものです。

つきましては、貴会関係者に周知方よろしくお願いいたします。

本件内容の問合せ先
公益社団法人
日本獣医師会：事業担当福田
TEL 03-3475-1601

※「別添」略

公益社団法人 埼玉県獣医師会会長 高橋 三男 様

畜安第509-1号
平成29年9月29日

埼玉県農林部畜産安全課長
岩田 信之 (公印省略)

家畜に使用するコリスチン製剤（動物用医薬品）のリスク管理措置について（通知）

本県の動物薬事行政につきましては、日頃格別の御協力をいただき厚くお礼申し上げます。

標記について、別添のとおり農林水産省消費・安全局畜産安全管理課長から通知（以下、国通知）がありました。国通知の概要は下記のとおりですので、御承知おきいただくとともに、貴会会員への周知をよろしくお願いいたします。

記

1 背景

農林水産省では、抗菌剤を家畜等に使用することにより選択される薬剤耐性菌が、食品を介して人の健康に影響を与えるリスクについて、食品安全委員会によるリスク評価結果に基づきリスク管理措置を策定・実施してきました。また、平成28年4月に「薬剤耐性（AMR）対策アクションプラン」が策定され、ヒト、動物等の垣根を越えた取組を推進していくこととされ、その的確な実施等が求められています。

今般、食品安全委員会によりコリスチンのリスク評価を行った結果、リスク推定区分が「中等度」とされたので、コリスチン製剤の使用により薬剤耐性菌が選択されるリスクを低減させるため、平成30年4月よりリスク管理措置を強化することとしています。

2 強化された措置の概要

- (1) コリスチン製剤を第二次選択薬に位置づける。
- (2) 緑膿菌をコリスチン製剤の有効菌種から削除する。
- (3) コリスチンの薬剤耐性に関する動向調査について、以下の取組を実施する。
 - ア コリスチン製剤を使用した農場における薬剤耐性の動向調査の強化
 - イ コリスチン耐性遺伝子（mcr-1）の動向調査の継続

※「別添」略

100:000
全国大学獣医学関係代表者協議会・日本獣医学会市民公開連携シンポジウム

獣医師の社会的役割と、 その教育の今

日時 平成29年12月9日(土) 13:00～17:30 (12:30開場予定)

会場 東京大学弥生講堂 一条ホール

(東京メトロ南北線「東大前」駅下車。東大農学部正門を入ってすぐ。)

定員 200名 参加費 無料

参加申し込み方法 下記のHPまたはFAX用参加申込書(裏面)にてお申し込みください。
URL: <https://juuishi-seminar.jp>

お問い合わせ 獣医学教育連携シンポジウム運営事務局 (受付時間10:30～18:00)
TEL:03-5259-5288 FAX:03-5259-7882 Email: info@juuishi-seminar.jp



座長

公益社団法人日本獣医師会副会長
日本大学名誉教授
酒井 健夫

◆ 基調講演



新興感染症－インフルエンザならびにエボラ出血熱－

東京大学医科学研究所教授
米国ウイスコンシン大学教授
河岡 義裕

◆ 講演



わが国における獣医師の職域：獣医師免許と獣医学

山口大学共同獣医学部教授
佐藤 晃一



わが国における獣医学教育改善：国際水準化に向けての現状と課題

北海道大学大学院獣医学研究院・獣医学部教授
全国大学獣医学関係代表者協議会会長
稲葉 睦



獣医学実践教育強化の具体と公務員獣医師の確保への課題

北里大学副学長・獣医学部教授
特定非営利活動法人獣医系大学間獣医学教育支援機構理事長
高井 伸二



欧米における獣医学教育の現状と認証評価制度

帯広畜産大学副学長・獣医学研究部門教授
倉園 久生



将来における獣医師への期待と獣医学教育の在り方

東京大学大学院農学生命科学研究科・農学部教授
公益社団法人日本獣医学会前理事長
中山 裕之

主催

全国大学獣医学関係代表者協議会
公益社団法人日本獣医学会

共催

公益社団法人日本獣医師会

(裏面)略 出席される方はHPから直接申し込んで下さい。



農林水産省



ワンヘルスに関する連携シンポジウム ー 薬剤耐性（AMR）対策 ー

日時：平成29年11月27日(月) 13:00～17:30 (受付時間12:30～)

会場：日本医師会大講堂（東京都文京区本駒込2-28-16）

プログラム（予定）

13:00 ～ 13:20 【開会挨拶】

厚生労働省
農林水産省
日本医師会会長 横倉 義武
日本獣医師会会長 藏内 勇夫

13:20 ～ 13:30 【基調講演】

「厚生労働省におけるAMRの取組み」

講演：厚生労働省健康局結核感染症課 課長 三宅 邦明

13:30 ～ 16:50 【講演】（休憩 15:00 ～ 15:20）

座長：東北大学大学院医学系研究科 教授 賀来 満夫

酪農学園大学動物薬教育研究センター 教授 田村 豊

「薬剤耐性ワンヘルス動向調査年次報告」

講演：国際医療福祉大学大学院医療福祉国際協力学分野 教授 渡邊 治雄

「家庭飼育動物由来耐性菌の現状」

講演：鳥取大学農学部 准教授 原田 和記

「医療における耐性菌の現状」

講演：長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 教授 柳原 克紀

「動物分野における薬剤耐性への取組み」

講演：動物医薬品検査所検査第二部 総括上席研究官 木島 まゆみ

「小動物診療施設におけるMRSAの疫学」

講演：酪農学園大学獣医学群 准教授 白井 優

「医療における薬剤耐性への取組み」

講演：国立国際医療研究センター 国際感染症センター長 大曲 貴夫

16:50 ～ 17:20 【ディスカッション】

17:20 ～ 17:30 【閉会挨拶】

参加費
無料

申込方法

氏名、所属、電話番号など必要事項を申込用紙に明記の上、E-mail、郵便又はファクシミリにて事前申し込みをお願いします。申込用紙は厚生労働省ホームページ（<http://www.mhlw.go.jp/stf/itsuite/bunya/0000180881.html>）からもダウンロードできます。

FAX 03-6909-3478

郵送先 〒176-0004 東京都練馬区小竹町2-71-5 北野ビル2F
株式会社ツクルス内 ワンヘルスシンポジウム事務局 担当：前原

E-mail onehealth-jimukyoku@tsukurusu.com

※定員になり次第締め切らせていただきます。

問い合わせ先 TEL: 0776-22-0608（受付時間：平日9:00～17:00）
株式会社ツクルス内 ワンヘルスシンポジウム事務局 担当：前原

ホームページ
QRコード



主 催：厚生労働省
共 催：農林水産省、日本医師会、日本獣医師会
協 力：日本化学療法学会、日本感染症学会、日本臨床微生物学会、日本獣医学会、動物用抗菌剤研究会

※(申込用紙)略 出席される方は上記申込方法を参考に直接申し込んで下さい。

切り抜きニュース

【教えて!goo】犬の死期はどう迎えたらいいい?

心の整理のつけ方を投稿者と専門家が回答

みなさん、犬は飼ったことはあるだろうか。犬を始め、ペットを飼うと心癒されるものだが、命あるものは必ず終わりが来る——。動物を飼う前に、よくそれを理解できていればいいのだが、やはり亡くなる直前は辛くなってしまふものだ。「教えて!goo」でも「犬の死期について……」と、まだ飼っていてもいないながら犬の死期を思い、死期が近づいてきたら気持ちの整理がつくのかどうか尋ねる質問者を見つけた。果たして動物の死期はどう迎えたらいいいのか。実際に苦しい経験をした人々から、温かい回答が多数寄せられたのでご紹介したい。

心の整理をつける時間があるかどうか

まず寄せられた投稿のなかで、筆者が目についたのは「愛犬の死期が寿命なのか、病気なのか、事故なのかによって、気持ちの整理のつけ方が違う」という意見である。

「寿命を全うするその時が老衰なのか病気なのか事故なのか、それによって気持ちも違うと思います。私は何度か自分の犬や、友人の犬など看取って来ましたが、一緒に暮らした日々には後悔がなければ、最初は泣き続けるかもしれませんが、きっと優しい気持ちでいられると思います。」(samoyedさん)

特に寿命や病気の場合は、心の整理をつける時間があるのは大きいかもしれない。わかったときは辛いかもしれないが、少しずつでも愛犬との別れを覚悟できるからだろう。

ペットも愛する家族の元で亡くなりたい

ほかにも筆者の目がいったのは、実際に愛犬を亡くした体験を寄せる声である。

「安楽死は考えたことないです。苦しそうにしている、それが自然なことだと思うので、ずっと見てるだけです。なでなで、『今まで幸せだった?』とか、『ありがとうね』とか、最後のいい時間を過ごせるように、犬のために、めいっばい一緒にいます。(中略)愛情をかけたわんこは、必ず飼い主の目の前でなくなると思います」(nnoname#32115さん)

大好きな飼い主のもとで亡くなりたいというのが、おそらく犬にもわかるのだろう。看取りは辛い、最後まで愛犬と一緒にいられるのは、両者

にとって貴重な時間となるのではないかな。

専門家の回答は……?

専門家の回答はいかがだろうか。ペットケアアドバイザーの橘和子さんが意見を寄せてくれているので、合わせて取り上げてみたい。

「『この子、もうやばい』と思ってから数日間はその子はあなたに与えてくれるはず。あなたに心の整理をする時間を与えてくれます。そしてその子の一生に向き合えば向き合うほど、最期の瞬間をあなたと過ごせるように待っていてくれます。その時になれば、わかります。怖がらずに前に進んでみてください」(橘和子さん)

別れの悲しみ以上に、温かさや優しさで胸が満たされるため、恐れることはないということだろう。また、ペットロスの辛さは誰にでも起こること。アメリカなどでは相談窓口もたくさんあるが、日本では支援体制ができていないことも、飼い主の心情に多かれ少なかれ影響があるかもしれない。

愛するペットが亡くなって心の整理のつけ方に悩んでしまったら、ぜひ各投稿者、専門家の意見を参考にしてみたい。

平成29年10月15日(日) 産経新聞

「八方にらみの犬」の絵馬で視野広く 京都・恵美須神社

来年の絵馬は、「八方にらみ」の犬で視野を広く。京都市東山区の恵美須神社が、19日の「二十日ゑびす大祭」宵宮から来年の干支(えと)の絵馬の取り扱いを始めた。宮司の中川久公(ひさただ)さん(52)が原画を描いた犬は、どの角度から見ても視線が合う八方にらみ。22日の衆院選投開票を前に、中川さんは「有権者も政治家も、八方にらみの広い視野で物事を捉えて」と話す。

恵美須神社は、昨年亡くなった先代宮司が長く絵馬の原画を描いてきた。今年の干支の酉(とり)から中川さんに担当が変わり、2年目を迎えた今回は、より特色のある絵馬にしようと、八方にらみの描き方を取り入れた。

「八方にらみの龍」で知られる妙心寺の雲龍図なども参考にしながら、目を描く場所と目玉の位置に注意して仕上げたといい、どの方向から絵馬を見ても、宝珠を持った犬と視線が合うように感じられる。

「人はややもすると自分の周りのことしか見えなくなりがち」と中川さん。「この犬のように広く見渡すといろいろなものが見えてくるのでは」と話している。 平成29年10月20日(金) 京都新聞

平成29年度埼玉県獣医師会学術広報版

(平成29年10月20日現在)

年 月 日	産 業 動 物	小 動 物	公 衆 衛 生
平成29年 4 月			
5 月			
6 月16日(金) ～18日(日)	第94回日本獣医麻酔外科学会／第106回日本獣医循環器学会／第61回日本獣医画像診断学会 2017春季合同学会（さいたま市 大宮ソニックシティ）		
6 月25日(日)		北支部 「犬猫の止血異常の診断と治療」 日本大学 亘 敏広 先生 (熊谷市 ホテルシティーフィールドかごはら)	
7 月17日 (祝・月)		東支部 「犬のリンパ腫2017」 日本小動物がんセンター 小林 哲也 先生 (久喜市 久喜総合文化会館)	
8 月			
9 月10日(日)	平成29年度 関東・東京合同地区獣医師大会（東京）獣医学術関東・東京合同地区学会 (東京都千代田区 都市センターホテル)		
9 月24日(日)		南支部 「犬の慢性腎臓病 管理の実際」 日本獣医生命科学大学 宮川 優一 先生 (さいたま市 大宮ソニックシティ)	
10月 1 日(日)		東支部 「肝臓疾患の診断を極める！」 どうぶつの総合病院 浅川 翠 先生 (越谷市 越谷サンシティ)	
10月20日(金)	北支部・しゃくなげ会 「教育現場における産業動物診療について」 麻布大学 佐藤 礼一郎 先生 (熊谷市 埼玉県熊谷家畜保健衛生所)		
10月22日(日)		西支部 「呼吸器疾患の診断と治療」 日本獣医生命科学大学 藤田 道郎 先生 (川越市 川越南文化会館)	
11月19日(日)		東支部 「神経病学を究める！」 どうぶつの総合病院／埼玉動物医療センター 金園 晨一 先生 (越谷市 越谷サンシティ)	
12月17日(日)		南支部 「腫瘍外科の考え方」 日本獣医生命科学大学 皆上 大吾 先生 (さいたま市 大宮ソニックシティ)	
12月22日(金)	農林支部 平成29年度埼玉県家畜保健衛生業績発表会 (さいたま市 埼玉会館)		
平成30年 1 月21日(日)		さいたま市支部 「演題：未定」 講師 未定 (場所 未定)	
1 月28日(日)		西支部 「演題：未定」 犬と猫の皮膚科 村山 信雄 先生 (川越市 川越南文化会館)	
2 月 4 日(日)		北支部 「演題：未定」 日本小動物がんセンター 小林 哲也 先生 (場所 未定)	
2 月			衛生支部 健康福祉研究発表会 食肉衛生技術研修会
2 月10日(土)～ 12日(月・祝)	平成29年度 日本獣医師会獣医学術学会年次大会（大分） (別部国際コンベンションセンター)		
2 月25日(日)		西支部 「演題：未定」 どうぶつの総合病院／埼玉動物医療センター 金園 晨一 先生 (場所 未定)	
3 月 4 日(日)		さいたま市支部 「演題：未定」 講師 未定 (さいたま市 大宮ソニックシティ)	

事務局メモ

ホームページ会員専用ページ 入室は URL <http://www.saitama-vma.org/>

ID：SVMA（半角・大文字） パスワード：MITSUO（半角・大文字）

（10月号）

9月24日	南支部学術講習会（さいたま市 大宮ソニックシティ）	平成30年	1月15日	知事と農林水産業団体長との懇談会（さいたま市 知事公館）
9月24日	彩の国さいたま動物愛護フェスティバル2017（鴻巣市 吹上生涯学習センター）		1月21日	さいたま市支部学術講習会（未定）
9月29日	平成29年度全国獣医師会会長会議（東京都港区 明治記念館）		1月28日	西支部学術講習会（川越市 川越文化会館）
9月30日	日本獣医師会主催2017動物感謝デーin JAPAN（東京都世田谷区 都立駒場オリンピック公園）		2月4日	北支部学術講習会（未定）
10月1日	東支部学術講習会（越谷市 越谷サンシティ）		2月10日～12日	平成29年度日本獣医師会獣医学術学会年次大会（大分）（大分県別府市 別府国際コンベンションセンター ビーコンプラザ）
10月12日	第2回獣医事調査委員会（さいたま市 埼玉県農業共済会館）		2月18日	関東・東京合同地区獣医師会理事会（東京都千代田区 都市センターホテル）
10月19日	第61回埼玉県公衆衛生大会（さいたま市 埼玉会館）		2月25日	西支部学術講習会（未定）
10月20日	北支部・しゃくなげ会合同学術研修会（熊谷市 熊谷家畜保健衛生所）		3月4日	さいたま市支部学術講習会（未定）
10月22日	西支部学術講習会（川越市 川越南文化会館）			
10月26日	第4回理事会（さいたま市 埼玉県農業共済会館）			
11月5日	第39回埼玉県獣医師会ソフトボール大会（吉見町 吉見総合運動公園）			
11月9日	第2回狂犬病予防委員会（さいたま市 埼玉県農業共済会館）			
11月19日	東支部学術講習会（越谷市 越谷サンシティ）			
11月22日	平成29年度新入会員研修会（さいたま市 埼玉県農業共済会館）			
11月30日	集合狂犬病予防注射実施者講習会（さいたま市 さいたま市民会館うらわ）			
12月5日	テレビ埼玉「新春挨拶番組」収録（さいたま市 浦和ロイヤルパインズホテル）			
12月17日	南支部学術講習会（さいたま市 大宮ソニックシティ）			
12月22日	平成29年度埼玉県家畜保健衛生業績発表会（さいたま市 埼玉会館）			

編集後記

『名月や池をめぐりて夜もすがら』は芭蕉の句です。春夏秋冬のある中国では古来より月を愛でる風がありました。我が国も輸入文化として夜を照らす月に特別な思いを抱いてきました。唐の時代の王建は、『十五夜望月』(十五夜月を望む)と題する詩において、

中庭地白樹棲鴉 中庭地白うして樹に鴉棲み
冷露無声湿桂花 冷露声無く桂花を湿おす
今夜月明人尽望 今夜月明人尽く望むも

不知秋思在誰家 知らず秋思の誰が家にか在る
蛇足ながら解釈を記すと、『今宵は中秋の名月、中庭の地面は月光に照らされて白く輝き、木の枝には鴉がねぐらについている。ひんやりとした露は音もなく結んで、木犀の花をしっとりとうるおしている。今宵中秋のさえた満月の光を人は誰しも皆ながめているだろうが、秋の夜の物思いにふける人は、いったいどこの家にいるのだろうか。』とこの清浄な月夜の景色によって引き起こされた友への慕情をうたっています。ほのかな月光に照らされた地面に照り映える白い光、樹上の鴉のシルエットにより秋の冷え冷えとした静寂が描かれます。同時に、しのびやかに桂花(木犀)の花の上の夜露とあたりに漂う木犀を描写しています。名月と木犀の香りに誘われて蛍雪の友を想うのは、唐の世に生きた人々も、21世紀の埼玉の地に生きている我々も同じ想いであることをしみじみと感じます。

春に種まきした作物は、秋に実を結びその身は役割を終え秋風とともに地に還る時で、人生を投影して一抹の寂しさを感じる頃でもあります。『秋風の辞』と題する七言古詩は、

秋風起こりて白雲飛び
草木黄ばみ落ちて雁南に帰る
蘭に秀(花)有り菊に香り有り
佳人を懐いて忘るる能わず
楼船を汎べて汾河を済り
中流に横たわりて素波を揚ぐ
簫鼓鳴りて棹歌を発す
歡樂極まりて哀情多し
少壮幾時ぞ老いを奈何せん

と漢の武帝(前156～前87)が44歳の時に詠

んだとされています。中国皇帝の最盛期に、人生における老いへの恐れを秋の訪れの中に見出しています。諸行無常であることを深く自覚することによって初めて、現在の一瞬一刹那を大切に作る心が生まれるようです。日本列島に住んだ人々が文字を持たなかった時代の紀元前113年に漢王朝7代目の天子、劉徹(諡は武帝)は人生の虚しさ儚さを感じていたようです。

10月はノーベル賞の月でもあります。5日は文学賞が発表され、イギリス人のカズオ・イシグロ氏が受賞しました。氏は『人生は短い。その短い人生の中で避けられない死に直面した時に、何が重要なのか、そういうテーマについて書きたいと思った』と告白しています。

6日の平和賞は核兵器廃絶に取り組んだNGO『核兵器廃絶国際キャンペーン(ICAN)』が受賞しました。受賞理由は『核兵器の使用による破滅的な人道上的結果に注目を集めるための取り組みや、条約に基づいた核兵器の禁止実現に向けた画期的努力』でした。ICANの中心的役割を担ったのは長崎市や広島市における原爆被害者団体であり、大きな実績は2017年7月の国連での核兵器禁止条約の採択でありました。絶対悪である核兵器を地上から消滅させるとの願いは被爆国の我が国の人々の心からの願いであり祈りです。毎年8月6日と9日に開催される広島市と長崎市の平和祈念の式典におけるそれぞれの市の市長のメッセージは広く平和と核兵器廃絶を願う世界の人々の心を震わせるものでした。被爆国の日本が表舞台にいたのではなく、世界の若人が活動し核兵器廃絶を高らかに謳い上げる時代になりました。我が国の人々の過半数が戦争の惨禍を真摯に受け止める日が来れば、為政者は核兵器禁止条約を批准することにためらいはなくなるでしょう。

生命科学に携わる獣医師はすべての生命、とりわけ弱者の命を守る立場にいます。イデオロギーではなく、生命尊重の立場から核兵器廃絶に貢献したいものです。

窓の外は秋風冷露、ほのかな木犀の香りに乗せて10月号をお届けします。(初雁)



NexGard
SPECTRA®
ネクスガード スペクトラ



動物用医薬品 要指示
犬用ノミ・マダニ駆除剤
犬糸状虫症予防・消化管内寄生虫駆除剤

フィラリア症
の予防

ノミ
の駆除

マダニ
の駆除

お腹の虫
の駆除

これ1つでOK。

オールインワンのお薬があります。



Broadline®
ブロードライン®



動物用医薬品 要指示
猫用ノミ駆除・寄生予防／マダニ駆除剤
猫の犬糸状虫症予防／消化管内線虫・糸虫駆除剤

®メリアルの登録商標



株式会社 **アスコ**
http://www.asco.sala.jp

国内広域展開の動物用医薬品ディーラー
人と動物の健やかな共生環境づくりに貢献します

本 社

〒441-8021
愛知県豊橋市白河町100番地

TEL 0532-34-3821
FAX 0532-33-3611

**営業所
所在地**

- ・東日本支店
児玉、前橋、松本、旭、茨城、栃木
東京、大宮、宮城、福島
- ・中日本支店
豊橋、安城、浜松、沼津、岐阜、名古屋
- ・西日本支店
広島、福山、山口、米子、岡山
大阪、京都

皮膚・被毛 腸内環境 抗酸化成分

胃腸と皮膚が気になる犬に



ドクタークレド
Dr. CREDO No.1
成犬用 総合栄養食 1kg・3kg

抗酸化成分 心臓・腎臓 活力の維持

血流と健康が気になる犬に



ドクタークレド
Dr. CREDO No.2
中・高齢犬用 総合栄養食 1kg

国産品 小分けパック 毛玉対応

下部尿路が気になる成猫に



ドクターイデア
Dr. IDEA No.1
成猫用 総合栄養食 150g×6入

① 森久保薬品株式会社

神奈川：046-221-0620 群馬：027-230-3322 東京：042-564-2381 埼玉：04-2968-0881
三郷：048-948-2112 山梨：055-224-5278 栃木：028-666-3399 茨城：029-241-3131
つくば：0296-43-1661 成田：0476-40-5811 茂原：0475-24-1613

ACTY



ミルクが出ない



太りすぎ



卵が少ない

そんな悩みを

わかっていてくれる。



治りが遅い



高齢化



食欲がない

アクティは大切な動物の健康をサポートします。

私共、アクティ動薬事業部は、動物病院ならびに

牛、豚、鶏などの産業動物を対象とした

動物用医薬品、特別療法食、医療機器等の販売をしています。

20世紀は抗生物質の時代、

21世紀は生菌製剤の時代といわれるように、

健康に関する考え方も大きく変化してきています。

私たちは、獣医療を支えている関係者、畜産農家、

ペットオーナーの皆様方と共に、健康で、豊かで、安心な

生活を営んでいけるように、力を注いでまいります。

本社・長野県営業部

〒390-1301 長野県東筑摩郡山形村8228

TEL:0263-87-7247 FAX:0263-87-7247

北関東営業所

〒370-1135 群馬県佐波郡玉村町板井870

TEL:0270-65-0552 FAX:0270-65-0553

さいたま営業所

〒338-0004 埼玉県さいたま市中央区本町西5-3-24

TEL:048-611-6111 FAX:048-611-6116

千葉営業所

〒260-0851 千葉県千葉市中央区矢作町243

TEL:043-308-0221 FAX:043-308-0223

茨城営業所

〒311-4152 茨城県水戸市河和田1丁目1642-1

TEL:029-306-8271 FAX:029-251-3880

山梨営業所

〒409-3863 山梨県中巨摩郡昭和町河東中島1599-4

TEL:055-275-5573 FAX:055-275-5564

アクティ株式会社

<http://www.acty-kk.com>